
YUIが悪と闘ったら 怪しい集団編 5

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら 怪しい集団編5

【Nコード】

N9985T

【作者名】

pokemonmtyan

【あらすじ】

とうとう敵たちが姿を現す！

怪しい集団の影（前書き）

感想を書いてね。

怪しい集団の影

神崎昂の案内で枝野は、山間に陣取っていた町の人々を大虐殺したEの組織の軍隊を襲撃し壊滅へと追い込み、枝野達は殺した敵兵の身の周りを調べていた。

部下（枝野官房長官！敵兵は全て壊滅いたしました。）

枝野（私も槍を振り応戦したが、多分コイツ等はEの組織辺りの奴らだろう・・・）すると、生き残りの血まみれのEの組織の兵士が襲いかかった。

Eの組織の兵（枝野！死ね叫！）

枝野（喰らえ！汚染された海水を飲まない限り、放射能には感染しない突き！）枝野の鋭い槍の突きが見事、敵兵士の心臓を貫いた。後ろの方では甥でこの事件の主犯、神崎昂が笑っていた。

神崎昂（まあ、この兵士を全員殺すのはもったいなかったが・・・僕の存在がきずかれると後々、厄介になるし、僕の覇道が成しえない叔父にチクって全員、放射能に汚染された家畜の如く殺処分して正解だったなくくく笑。）すると、頭から血を流したEの組織の兵士が一人、神崎の足を掴んだ。

Eの組織の兵士（か・か・神崎・・・裏切ったな・・・）兵士は鬼の形相をして、神崎を睨んだ。

神崎昂（ふふふ笑。まだ生きていたのか、死にぞこないが。人間なんて全員そんな生き物だ、俺は頭が良いからコロコロ考えが変わるんだよ笑。さつさと眠れ、）神崎は笑いながら刀を抜いて兵士の頭上に力強く刀を刺した。暫くして、枝野の部下が血がついた旗のようなものを持ってきた。

部下（枝野官房長官！大変です！）

枝野（如何した！何か見つかったのか？）

部下（ハイ！私が殺した兵士の一人が持っていた旗なのですが、広げてみると何と赤丸上下の旗、私たちのシンボル、民主党の旗印だ

ったんです！)

枝野(何！コイツ等・・私たちのせいにしようとしたんだな！此れは・・仕事をさぼってYUIさん達と遊んでいる総理が危ない！直ぐにとつて引き返せ叫！)

神崎(叔父さん・・コイツ等。許せない！今日は休みだったけれど、コイツ等を僕は斬りに行くよ！)

枝野(ついて来い昂・・者ども引き返せ！) 枝野は官邸に引き返そうとしたが、また不可解な事が起こった？何と、今まで自分たちが通ってきた道に転がってあった死体が消えていたのである。

枝野(どういう事だ！山のようにあった死体が消えている！)

神崎(叔父さん！僕達の通ってきた橋も壊されて、官邸に戻れないよ叫！)

枝野(この道筋だとデイズニーランドの道・・遠回りだ！)すると、枝野の軍勢に対して怒り狂った庶民が襲ってきたのである。

人々(くそ！民主党怒！此処までキチガイな事をして、そんなにこの国を滅ぼさせたいか！クタバレ！枝野さんは信じていたのに・・裏切られたぞ覚悟しろ怒！) 軍隊と交戦になった。

枝野(待て！信じてくれ！)

部下(此処は私達が食い止めますから、枝野さんは向かってください！)

神崎(叔父さん！多分、僕の予想では長芋はYUIさん達と居るから安全だ！とりあえずデイズニーランドに遠回りして向かおう！)

枝野(そうだな・・致し方ない昂！YUIさん達を助けに行こう！) 二人は馬を飛ばした。しかし、勿論これも神崎昂の作戦である。

神崎(ふふふ笑。楽しくなってきた) YUI達は今度はどうやって乗り切るんだろ。そして、死体はEの組織が運び、橋も僕の指示で壊したんだ、死体もあの怠け者にかかりやあ、リサイクルできるしな笑。) 神崎は必死に笑みを堪えた。

YUI達も逃げながら、デイズニーランドの前に来た。

YUI(ハアハア。どうなってるの？いきなり皆が、菅！覚悟しや

がれって叫んで攻撃してくるし・・・)

向井理(俺達は若いし、これから人気が出る世代なのにどうしろってんだ人気が落ちちまうじゃねえかよくそ！ハアハア・・・走って喉がカラカラだ。水筒に入れてる柚子胡椒の水割り飲むか。)

YUI(いろいろ言動には突っ込みたいが！何だその飲み物は！そんなに喉の渇きが癒せるか怒！)

北川景子(向井さん・・・一杯もらえるかしら？)

長谷川潤(私も一杯もらいたいわ。)

YUI(お前等も得体の知れない飲み物を飲むな叫！)

向井(良いよ。俺の水筒の絵柄は因みに、ポケモンのポカブーやミジュマルの絵が描かれているんだ♪ちよつと可愛さアピールで女の子にはウケが良いよな♪ハイ！柚子胡椒の水割りな♪)

YUI(可愛さアピールじゃなくて・・・幼稚だー怒！) YUIはギターで向井の頭を叩いた。

向井(お前・・・恐いぞ！少し！お前にはあげないよ美味しいのに・・・)

YUI(いらんわい怒！)

潤(あつ！でも、アルコールと割ってるから以外にいけるね♪)

北川(モスコミュールっぽい味ね♪)

向井(だろ！俺はバーで店長やっていたから、まかないでいろいろ作っていたんだ♪)

YUI(もう・・・怒れないよ泣。あれ？長芋は？)

潤(いないねそういや・・・殺されたのかな？)すると、後ろからある男が走ってきた。

菅直人(ハアハア。もう俺様64歳だぞ・・・容赦なく因縁吹かけられて殺されそうになるし・・・俺様が内閣の座にいる前に、あいつ等全員処刑だ菅怒！)

YUI(長芋・・・お前にそんな力もないよ笑。) YUIは菅の肩に手を置いた。

菅(もう・・・言い訳が俺様も出来なくなっているよ・・・とりあえず、デイズニールランドに入るぞ！海江田も待っているしな！)

YUI（それなんだが・何か辺りが暗くなって近づきにくいんだ。まず、誰か3人が入って様子を見に行った方が良さと思うんだけど。）

向井（じゃあ恨みつこなしで、王様ゲームできめるか。この割り箸をひいて、王様だった奴がこの奥に入る3人を選んで命令する・かなり平等なチョイスだろ？）

YUI（普通はあみだくじか、じゃんけんだろ怒！お前の思考回路がおかしいわ！）

一味は割り箸を手を取った。

一同（せいの！）一斉にひいた。

菅直人（おっしゃー叫！俺様が・海賊王だ叫！）

YUI（己は王様だろ怒！海賊王じゃないわい、日頃から総理大臣の職も海賊王とかほざいてるんだろ！）

菅（うん！俺様、内閣の通称で海賊王って言ってるぞ！）

YUI（言うな！ドアホ！）

菅（うしし笑！じゃあ、俺様が海賊王だから・そうだな。潤ちゃんと俺様が唇にちゅーってことで笑！）

YUI（だから！そういう意味でやってるんじゃないよ怒！）

YUIは割り箸を菅に投げつけた。

菅（痛い菅・あっ！さてはYUI・お前、焼いているな笑。可愛いぞ！）

YUI（状況が読めんのか怒！貴様は！）

向井（もうどうでも良いから・さつさと、3人きめろよ空き缶。）

菅（解ったよ・だったら、YUIと向井と景子さんがいけよ！俺様は潤ちゃんとこのまま、官邸に帰るからさ。お前等はお前等で好きにしるよ笑。）

YUI（お前もどの道！入るんじゃないや怒！何を一人で帰ろうとしてるねん！）

すると、良く肥えた男が一人、上から落ちてきた。

YUI（また・貴方か。今度もお助けて登場・？）

葉加瀬太郎（ヨホホホホ。そうですね！この一味のホープ・・太る分だけ太った歌う豚事、葉加瀬太郎です！如何かお見知りおきをヨホホホホ。）

向井（また、可笑しいのが出てきたな・・呆。）

北川（ねえ。私は別に恐いも無いから言つてよいけれど、葉加瀬さんって確か割と強いですよ？良かったら来てくださいよ。）

葉加瀬（ヨホホホホ。別に良いですよ笑。私もこの辺で持ち歩いているマイマヨネーズとマイバターを落としてしまいましたので、探していた所なんです。私、健康の為に4時にはマヨネーズを一気飲みしてバターをほおばり食べる事を欠かしていませんので、1日でもそれをしないと健康被害がでそうでしたヨホホホホ。）

YUI（健康に悪いわい怒！）

菅（じゃあ！俺様！景子さんを守るために・・俺様は行きます・愛しのエンジェル！）

YUI（王様なのに、ついていくのか？）

菅&葉加瀬&北川（じゃあ、行ってくるね♪）

3人ははしゃぎながら、デイズニールランドに入った。すると暫くして、枝野や神崎が来た。

YUI（枝野さん！どうして此処が？）

枝野（YUIさん。其れより総理は！）YUIは事情を話した。

枝野（あゝ・・あのアホはまた行つたのか。でも、葉加瀬さんが居れば大丈夫だろう。昔道場で立会をした事があるしな。）

神崎（僕もビックリですよ。まさかこんな事になるなんて。）

その頃、菅たちははしゃいでいた。

菅（ミッキーやミニーに会えるぞ♪）

北川（あれ？馬車がある！）

葉加瀬（舞踏会ですかね？ヨホホホホ。）

海江田万里が立っていた。

菅（海江田！大丈夫だったの菅？）

海江田（えゝだった笑。総理・・皆様お迎えに上がりました。早く

お乗りください。）

菅（うわゝおとぎの世界みたいだな。）4人は馬車に乗った。
その頃、いよいよ敵が姿のある場所で現した。

兵（うおー！我らがリーダーが出て来るぞ！）透明人間が姿を現してきた。

？（ふふふ笑。ワシの出番じゃのう。）

兵（エロリーダー！エロ関白！エロ大臣！うおー！）兵はリズムを取った。

？（やかましいわい怒！少し落ち着け！）

兵（ハハ！エロ関白様！）

岸谷五郎（シャウ！だからワシはエロく無いって！しかし・・・美女の客が多いのゝ今晚中にワシの花嫁を見つけるんじゃない！）

兵（うおゝ我らがエロ大臣様！）

萩原聖人（殿下泣！頼むからゝ収録に戻ってください！泣！）

岸谷（やかましいわい。三成！ワシの着物を引っ張るでない！ドロつく！）

岸谷は転げ落ちた。

ローラ（ホロホロホロホロ！あたしゝ敬語使えないんだけどゝ可愛いから許してねゝゝ）

YUI達も皆で入ってきたが、シンデレラ城にある国の国旗が掲げられた。

YUI（あの国たしか・・・）

枝野（温家宝め怒・・・）

潤（温家宝？中国の首席！恐ろしい奴じゃない！）

YUI（また、変な奴が泣・・・）

シンデレラ城内部。

温家宝（キシシシ。YUI共。まんまとはまりやがったな。此処は死の魔境、中華バーグ・・・悪い夢を見ていくが良い！キシシシ笑！）

続

怪しい集団の影（後書き）

感想を書いてね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9985t/>

YUIが悪と闘ったら 怪しい集団編 5

2011年10月9日03時02分発行